



宣教開始
1962年2月



さくら並木の教会

2025年4月27日(日)
No.3258

週報

日本バプテスト連盟 西川口キリスト教会 牧師：朴 思郁

〒335-0013 戸田市喜沢 1-2-13 Tel・Fax：048-442-3808

ホームページ <https://bap-nishi.net> メール：bap-nishi@wine.plala.or.jp

◇2025年度 教会標語 「信仰の成長と共同体の絆をめざして」

◇2025年度 主題聖句 「キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて、おのおのの部分は分に應じて働いて体を成長させ、自ら愛によって作り上げられてゆくのです。」
(エフェソの信徒への手紙 4章 16節)

＜定例集会のご案内＞ 主日礼拝：毎週日曜日 午前 10：30～11：30（会堂・オンライン）

聖書研究祈禱会：毎週水曜日

〈午前の部〉10：30～12：00（1階多目的ホール）※信徒によるものです

〈午後の部〉19：30～20：30（1階多目的ホール・オンライン）

《聖書のことば》

朴 思郁 牧師

4月20日 「復活の主に出会う」 宣教要旨

マタイによる福音書 28章 1-10節

「イエスは言われた。『恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。』」（10節）

イースターの朝、マグダラのマリアともう一人のマリアは、暗闇が残る早朝に墓へと向かいしました。彼女たちは十字架の場にも最後まで付き添い、イエスの死を見届けた女性たちです。なぜ彼女たちはまだ暗いうちに墓へと向かったのでしょうか。遺体に香油を塗るため以上に、イエスへの深い感謝と愛が彼女たちを動かしたのでしょうか。「石をだれが転がしてくれるのか」という不安を抱えながらも、彼女たちは一歩を踏み出しました。この一歩が、復活の出来事の最初の証人となる道を開いたのです。

墓に到着すると、大きな地震が起こり、天使が現れて石を転がし、「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、ここにはおられない。復活なさったのだ」と告げました。女性たちは恐れながらも喜び、弟子たちに知らせようと急ぎ足で墓をあとにしました。ところがその途中、彼女たちにさらなる驚きが訪れます。復活されたイエスご自身が彼女たちの前に現れ、「おはよう（喜びあれ）」と語りかけられたのです。

この言葉は単なる挨拶ではなく、神の救いの完成と新しい時代の到来を告げる宣言です。女性たちはイエスの足を抱き、ひれ伏しました。それは再会の喜び以上に、死を打ち破られた神の子への礼拝の行為でした。イエスは「恐れることはない。わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる」と語られました。逃げ出した弟子たちを「兄弟たち」と呼び、変わらぬ愛を示されたのです。

私たちにとっての「ガリラヤ」とは何でしょうか。それは単なる地名ではなく、霊的な「原点」を意味します。信仰に目覚めた場所、癒され、励まされ、新しくされた経験の場所です。初めて聖書の言葉に心打たれたとき、赦しを深く実感したとき、祈りの中で神の臨在を感じたとき、主の晩餐の恵みが心に染みわたったとき——それらは、私たちの信仰を形づくる原点、「ガリラヤ」なのです。イエスは今も私たちの「ガリラヤ」で出会ってください。「無理だ」と思いつつも愛のために踏み出すとき、その歩みが現代の「ガリラヤ」となるのです。

イースターの喜びは一時的な感情ではなく、どんな状況にあっても内側から湧き出る希望です。苦しみの現実を否定するものではなく、むしろそのただ中で与えられる「生きる力」なのです。死を前にしても希望を失わなかったボンヘッファーは、『善き力にわれ囲まれ』を記しました。彼が語ったように、キリストが死に打ち勝たれたからこそ、私たちは苦しみの中でも喜び、死の影の谷を歩くときにも恐れることがないのです。

《主日礼拝プログラム》

2025年4月27日

宣 教 アレックス・ユー伝道師
司 式 戸田浩司
奏 楽 山崎美奈

前	奏	「プレリュード イ長調」
招	詞	ローマの信徒への手紙 8 章 38-39 節
*賛	美	新生讃美歌 300 番「罪ゆるされしこの身をば」
*祈	禱	(司 式 者)
*交	読	詩編 16 編
*賛	美	新生讃美歌 306 番「喜びの声高らかに(B)」
聖	書	マタイによる福音書 28 章 16-20 節(新約 P60)
特別賛美		～ピアノと賛美～「Amazing Grace」「Grace Flows Down」 デラ・ユー
宣	教	「いつも共におられる主」(通訳: 朴思郁 牧師)
祈	禱	(宣 教 者)
*賛	美	新生讃美歌 326 番「ガリラヤの風」
献	金	献身の祈り: 下門秀子
*主の祈り		
*頌	栄	新生賛美歌 668 番「みさかえあれ(A)」
*祝福と派遣		(朴思郁 牧師)
*後	奏	
報	告	

*の印は、差支えない方はお立ちください。お座りになったままでもけっこうです

＜本日礼拝後の予定＞

教会学校 11:30～12:00
昼食と交わり 12:00～

【交読文】 詩編一六編 一一一節

ミクダム。
ダビデの詩。

神よ、守ってください

あなたを避けどころとするわたしを。

主に申します。

「あなたはわたしの主。

「一同」あなたのほかにわたしの幸いはありません。」

この地の聖なる人々

わたしの愛する尊い人々に申します。

「ほかの神の後を追う者には苦しみが加わる。

わたしは血を注ぐ彼らの祭りを行わず

彼らの神の名を唇に上らせません。」

主はわたしに与えられた分、わたしの杯。

主はわたしの運命を支える方。

測り縄は麗しい地を示し

わたしは輝かしい嗣業を受けました。

わたしは主をたたえます。

主はわたしの思いを励まし

わたしの心を夜ごと論してください。

わたしは絶えず主に相対しています。

主は右にいまし

わたしは揺らぐことがありません。

わたしの心は喜び、魂は躍ります。

からだは安心して憩います。

あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく

あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず

命の道を教えてください。

「一同」わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い

右の御手から永遠の喜びをいただきます。

報 告

＜次主日（5月4日）礼拝の予定＞

宣教題：「聖霊に導かれて」

聖書：ガラテヤの信徒への手紙 5 章 22-25 節

宣教：朴 思郁 牧師

司式：富田苗子

奏楽：山崎美奈

献身の祈り：砂押優樹

*礼拝の中で、主の晩餐式があります

☆本日の宣教者

本日宣教のご奉仕をしてくださるのは、アレックス・ユー伝道師で柳在貞さんの甥御さんです。米国のハイランズ・カレッジで牧会リーダーシップを卒業、現在はサウスイースタン大学でキリスト教ミニストリーを専攻しています。ノースシラキュースの The Gathering Place Church (ギャザリングプレイス教会) の会員です。特別賛美をしてくださるデラ・ユーさんはお母様です。お二人のご奉仕に感謝します。

☆4月執事会速報（詳細は5月4日配布の執事会報告をご覧ください。）

- ・2025年度執事会の基本方針と協働課題の優先的取り組みについて話合いました。第一の優先課題として2025年度前半をめどに地震・火災などの災害への備えに取り組みます。その後夏以降に、財政・修繕等の中長期の課題について整理し検討を開始します。
- ・決算・予算総会（第58-1）を5月25日（日）正午から行います。教会学校は休会とします。
- ・連盟理事会とは11月に最初の要望書を送ってから何度かやり取りを行いましたが、かみ合わない返答がなされてきました。教会からの申し入れは一区切りとし、その旨を述べた書簡を送ります。
- ・今年度の信徒説教の日程は6/29石井鉄也、8/31四津明美、11/9石水泰、3/22戸井田敦子です。信徒説教の日の「祝福と派遣」は今年度からはオルガンによるものではなく、説教者が担当します。

☆こどもイースター会のご報告

4月19日（土）午後2時から、教会で子どもイースター会を開催しました。参加者は子どもが6名、保護者とリーダーが9名でした。マジュンムル教会からの訪問の際、通訳としてご奉仕くださったパク・ジファン宣教師ご夫妻と息子さん二人も参加いただきました。小さな集まりでしたが、楽しい時を過ごしました。「主われをあいす」の手話賛美の後、朴思郁牧師のお話を聞き、イースターバスケット作り、そしてイースターエッグ探しをし、ゲームではフルーツバスケットを行いました。この会のために献金や飲み物などの献品もいただきました。皆さまのお祈りに感謝いたします。

☆イースターランチへの奉仕と献品に感謝

イースターランチのためにご奉仕と献品のご協力をありがとうございました。多くの方と昼食をご一緒できましたことを感謝いたします。

☆聖書教育誌5月号配布

購入されている方の週報ボックスに配布しました。記名してお使いください。

☆『交読詩編』について

交読文は週報の礼拝プログラムの下に掲載されている『交読詩編』です。

上の段を司式者が、下がった段（太字）を会衆が、〔一同〕という箇所は司式者と会衆が一緒に読みます。

☆女性会役員会からのお知らせ

週報ボックスに2025年度の女性連合会費及び世の光購読料金集金のご案内と封筒をお入れしました。ご確認ください、日曜日は役員（松井千恵・石井沙織）まで、平日は四津さんの勤務時間内に事務室までお持ちください。（期日：4月30日まで）

☆連盟からの送付物一覧（4月22日）

○第70回定期総会 議事録、送付状 ○理事会記録（2024年度11月、12月、1月臨時、第70回定期総会直前期中直後、第3回理事会記録） ○2025～2026年度 理事紹介 ○機関紙『バプテスト』5月号 ○5月協力伝道カレンダー ○機関紙『バプテスト』5月号「沖縄基地課題コラム」No.141 ○日本バプテスト連盟諸規程改定及び廃止について ○2025年度連盟行事予定表（第3信） ○2025年度理事会、監事、総会役員、各委員会等一覧 ○ミャンマー震災被災者支援金送付についてのお知らせ ○日本バプテスト連盟結成78年の歩み ○三バプテスト合同研修会のご案内、プログラム（案） ○憲法アクションより5/3集会のご案内（北関東、東京、神奈川の3地方連合による共催） ○礼拝動画での『新生讃美歌』内讃美歌使用について ○『新生讃美歌』使用許可申請不要曲リスト2025 ○部落問題特別委員会ニュース第45号

☆「バプテスト・憲法フェスティバル2025」のお知らせ（掲示中）

日時：5月3日（土）10時～11時半 場所：恵泉バプテスト教会+ZOOM配信 内容：賛美とリレートーク

主催：東京地方連合社会委員会・北関東地方連合社会委員会・神奈川地方連合社会部

*集会後、有明防災公園での「2025 憲法第集会」に合流予定

<5月の礼拝予定>

	5月4日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日
教会暦/行事					
宣教主題	「霊的な成長と聖霊」 テーマ：御霊に導かれて（ガラテヤ5:22-23）				
宣教者	朴 思郁 牧師	朴 思郁 牧師	朴 思郁 牧師	朴 思郁 牧師	朴 思郁 牧師
司式者	富田苗子	長谷川桂子	鉢嶺啓子	山崎奈穂	四津 徹
奏楽者	山崎美奈	山崎美奈	山崎美奈	山崎美奈	山崎美奈
献身の祈り	砂押優樹	高松隆幸	戸井田博之	内藤明子	中嶋真理子
その他	主の晩餐式			—	主の晩餐式
配 信	三木睦美、石水美佐子、砂押優樹、戸井田敦子、戸井田博之、戸田浩司、松井千恵、山崎奈穂、四津明美、四津 徹 サポート：大沼貴嗣				

- * 献身の祈りは、今年度より会堂でのご奉仕可能な方のお名前をお入れしています。年度途中から可能になった方はいつでもお申し出ください。（日程のご都合が悪い方は 前後の方と交代をされても結構です）
- * 礼拝でご奉仕のある方は、10時15分に祈禱室にお集まりください。

<礼拝でのお願い>

- * 礼拝中、会堂には固定カメラを設置しライブ配信をしています。
- * 献金は礼拝の始まる前に、2階礼拝堂の前方または後方にある献金箱にお捧げください。
- * 宣教原稿、CDでの礼拝をされている方は教会にお電話等でお知らせください。ホームページからご覧の方は礼拝出席通知ボタンでの通知をお願いします。

<今週の祈りの課題>

- 揺るがぬ信仰のために： 私たちが互いに支え合いながら信仰の歩みを続ける中で、信仰が強められていきますように。
- 教会から離れている方々のために： 神さまがいつも寄り添ってくださり、その心に平安と導きが与えられますように。再び共に礼拝をささげる恵みが与えられますように。
- 心身の苦しみや病を抱えている方々のために： 痛みや苦しみから解放され、癒しと回復が与えられますように。神さまに信頼し、平安のうちに日々を過ごすことができますように。
- アウトリーチ委員会の働きのために： 富田苗子（アウトリーチ執事）、金井孝子、高松悦子、新田裕子、前田艶子、松村栄子の働きの上に主の導きと祝福がありますように。教会員同士が祈り合い、絆を深めることが出来ますように。
- 宣教研究所の働きのために： 日々の業務が主によって守られ、その使命と役割が今後も連盟諸教会にとって最善のかたちで継承されていきますように。
- 教会員一人ひとりのために： 教会に連なる一人ひとりの歩みが主に守られ、励まされますように。今週は、以下の方々のためにお祈りください（五十音順）：
若月潔、若月洋子、石井沙織、石井鉄也
今週 誕生日を迎える方：2日 鉢嶺啓子

***転入会・バプテスマ希望の方は、いつでも朴思郁牧師にご相談ください**

献金のお 願い	* 献金集計は月に2回行っています。
	* 月約・席上・建築献金やその他献金を振り込まれる際は、下記の二つの口座をお願いします 名義は「日本バプテスト連盟西川口キリスト教会」です。
	★三菱UFJ銀行 普通口座 店番 289 □座番号 0256487
	★ゆうちょ銀行 普通口座 記号 10350 番号 53387831 他の金融機関から振込みの場合 店名 038 店番 038 普通預金 □座番号 5338783